

結果の要約

1 職業

静岡県の15歳以上就業者数(1,990,647人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が722,182人(15歳以上就業者数の36.3%)と最も多く、次いで「事務従事」が338,019人(同17.0%)、「販売従事」が251,914人(同12.7%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事」が15,600人(9.1%)増、「保安職業従事」が1,513人(5.2%)増などとなっている。一方、「管理的職業従事」が6,006人(12.1%)減、「農林漁業作業」が9,418人(8.7%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が39.7%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が30.9%、「販売・サービス関係職業」が23.6%、「農林漁業関係職業」が5.0%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が0.4ポイント上昇しているのに対し、「農林漁業関係職業」、「生産・運輸関係職業」がそれぞれ0.4ポイント、0.3ポイント低下している。また、「事務・技術・管理関係職業」は同率となっている。

「事務・技術・管理関係職業」	= 「専門的・技術的職業従事」 + 「管理的職業従事」 + 「事務従事」
「生産・運輸関係職業」	= 「運輸・通信従事」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」	= 「販売従事」 + 「サービス職業従事」 + 「保安職業従事」
「農林漁業関係職業」	= 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.1時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事」が48.1時間と最も長く、次いで「管理的職業従事」が45.0時間、「保安職業従事」が44.7時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事」が1.9時間減、「販売従事」が1.6時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が475,715組(夫婦数965,475組の49.3%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が274,908組(同28.5%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が80,280組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の16.9%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業」、妻が「事務従事」である夫婦が48,710組(同10.2%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は433,436世帯(住宅に住む一般世帯1,319,969世帯の32.8%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は886,533世帯(同67.2%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が307,079世帯(同23.3%)、「女性のみ」の世帯が159,079世帯(同12.1%)、「幼児と女性のみ」の世帯が80,808世帯(同6.1%)となっている。

図1 静岡県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

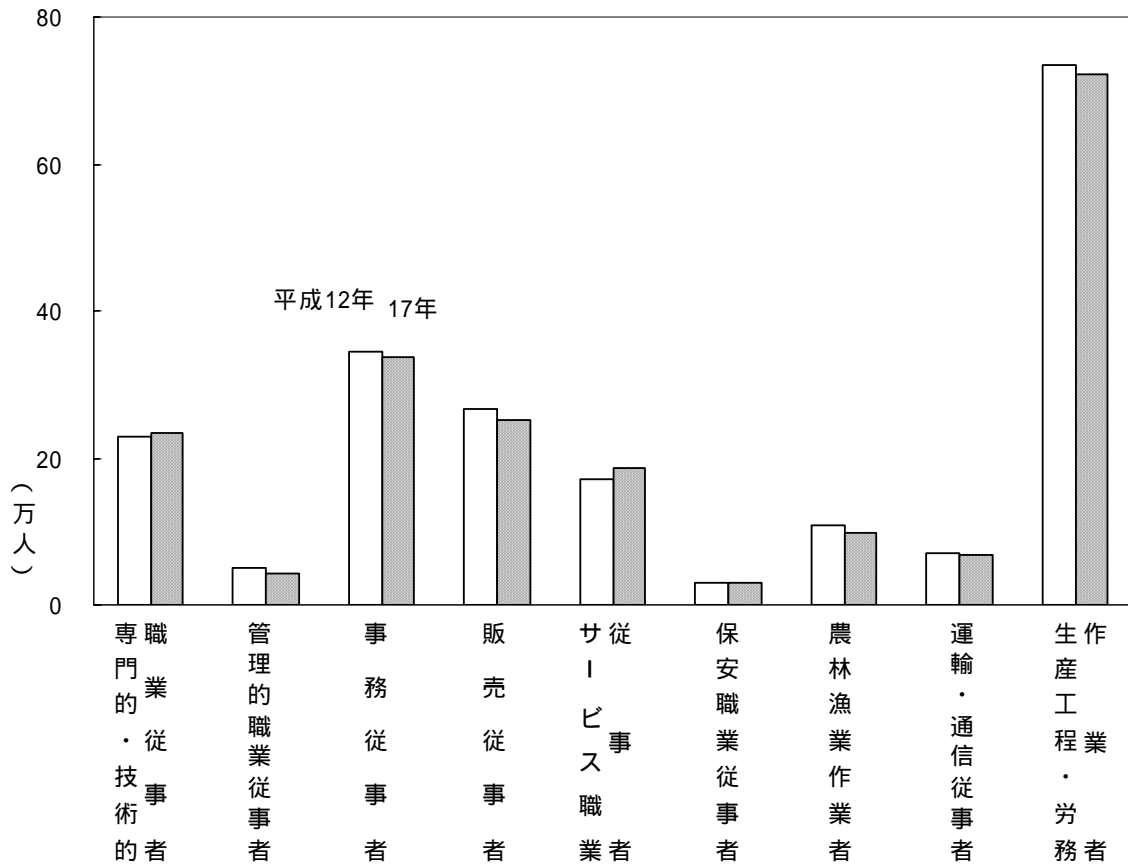


図2 静岡県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

